

祝修・卒業証書授与式



自然と人間社会が共生する只見町

No.171

令和5年4月14日発行

2023 APRIL

議会だより



6年間ありがとうございました
感謝を胸に4名の旅立ち

(表紙の説明は10ページへ)

未来の子供たちに託せる持続的なまちづくり
令和5年度予算 2~3
10名が町政を問う！一般質問 13~23

只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
議会中継へ→



持続的なまちづくり

一般会計 57億6千万円 特別会計 28億7百万円

(千円未満切り捨て)

I. 自然と共生するまちづくり (雪・居住・環境)

● 道路・定住環境の整備

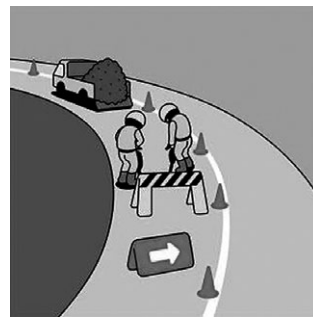
- ・ 移住、交流事業 **6090万円**
- ・ 橋梁長寿命化 (熊倉橋、宮沢橋) **9075万円**
- ・ 町道改良、補修工事 **4860万円**

● 除雪事業

- ・ 除雪支援保険事業 **1400万円**
- ・ 町道除雪委託料 **2億100万円**
- ・ 歩道除雪委託 **911万円**

● 上下水道の整備

- ・ 只見統合簡易水道事業 **1億2384万円**
- ・ 集落排水施設機能強化事業 **1億 376万円**



住みよいまちづくりに

3月1日から10日まで延べ10日間開催され、令和4年度補正予算、条例改正案、令和5年度当初予算については予算特別委員会を設置し、3日間の集中審議が行われました。一般会計、特別会計を含め全13議案、同意1案件を原案通り可決しました。振興計画の施策推進方策5つの柱の主なものについてお知らせします。

II. 文化に根づくひとづくり (スポーツ・文化・教育)

● 文化財保護整備

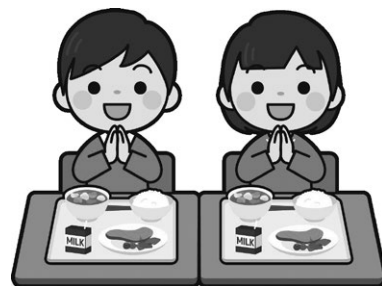
- ・ 宮前遺跡発掘調査 **4774万円**
- ・ 八十里越総合計画策定 **277万円**

● 体育施設整備 **729万円**

- ・ 町民体育館トレーニング機器購入

● 学校給食費補助金 **1452万円**

- ・ 学校給食費無料化にかかる補助金



おいしい給食ありがとう

令和5年度予算

未来の子供たちに託せる

総額 85億6690万円 前年対比 1億4000万円増

(千円未満切り捨て)

Ⅲ. 住民が主役のまちづくり (公共施設・インフラ)

● 只見線鉄道施設維持管理負担金

・ J R 只見線上下分離方式
運営にかかる負担金 **1935万円**

● 集会施設整備事業

・ 下福井外構工事 **622万円**

・ 建物解体工事
(旧榑戸・下福井公民館) **1425万円**

● 自然首都・只見号運行事業委託

・ 只見～田島間に加え町内観光周遊
バスの運航 **1811万円**



町の魅力を散策してみても
いかがでしょうか

Ⅳ. 住みやすいまちづくり (健康・安全・防災)

● 消防車両購入 **2691万円**

● 子宮頸がん予防ワクチン接種
1027万円

● 出産・子育て応援給付金
・ 妊娠、出産時の
給付金(10万円) **200万円**

● 広域市町村圏組合消防費

・ 広域消防署只見出張所建築事業等の負担金



令和6年完成予定

Ⅴ. 働きがいのあるまちづくり (農業・人材確保・地域の魅力発見)

● モンベル包括連携推進事業
・ 2021年に締結したモンベルとの包括連携
協定により取り組む事業 **1340万円**

● 薪エネルギー推進事業
・ 薪ステーション、
薪ボイラー設備の整備事業 **9315万円**

● 農業施設整備事業集落補助金
・ 13集落の農業施設
整備への補助金 **1817万円**

● 県営ほ場整備事業負担金
・ 梁取地区・只見地区
県営ほ場整備事業負担金 **1500万円**



生産効率アップ

令和5年度 予算を クローズアップ

令和5年予算特別委員会

主な質疑応答

歳入

地方交付税

問 人口減少に伴って地方交付税の長期的な見込みなど今後の歳入予算をどう見ているのか？

答 特別交付税分については上乗せもあるが、基本的な交付税については若干の減少傾向を将来的には見込んでいますので、しっかりと対応していきたいと考えています。

寄付金・ふるさと納税

問 ふるさと納税アップに今後どう取り組んでいくか情報発信が大切。ユネスコエコパークなど地域の魅力を創り応援いただかなければならない。

答 この分野を強化していきたい。間口を広げて、しっかりとPRを行い取り組んでいく。

基金繰入金

問 多額の基金がある。有効活用をしていくべきではないか。

答 事業を精査し、目的に沿った執行、活用していく。

県補助金

問 電源立地対策交付金、介護施設へは使えないのか。

答 福祉対策措置として項目もあるので、今後検討していきます。



しっかりとした対応を！

町債

問 町税収入の減もある、安定的な財源対策を。

答 起債含め交付税への算定など努めていく。

歳出

●総務費

交通安全対策

問 地域安全協議会の活動役割は。重要性を認識すべき。

答 交通安全、防犯対策これまで以上に重要、しっかりと取り組んでいく。

移住・定住・空き家対策

問 空き家改修補助金。取得して1年以内は短いのでは。

答 移住、定住施策として重要と考える、検討し改善を図っていく。

子育て世帯の移住策

問 子育て世帯の移住、定住制度。国、県制度と合わせPRすべき。

答 制度の周知と併せてPRに努め、移住、定住につなげていきたい。



わかりやすい周知が必要

●民生費・衛生費

民生委員協議会補助金

218万円

問 民生委員は制度上無報酬となっており、活動費が支給されているが低いのでは。

答 現状は認識している。総体的に検討をしていきたい。

高齢者対策

問 避難行動要支援者管理システムはどの様に活用されているか。

答 民生委員、各区、消防団で情報共有し、連携して避難誘導できるようにしている。

環境衛生対策

問 環境衛生費にESDの考え方、プラゴミ等の事業、取り組みが見えない。

答 今後そういった環境が整うよう努力していく。

●労働費・農林水産業費・商工費

薪エネルギー推進事業

9315万円

問 薪ボイラー事業、大きい視点で林業振興事業としての予算でないか。

答 大きな視点の中トアップとして考えており、いずれは林業振興の事業としていきたい。

問 薪ボイラー設備の設置箇所、限定するのではなく、町内全般に検討すべきでないか。

答 森林林業に風穴を開ける、地域経済の循環に繋がるよう取り組んでいきたい。

問 薪ボイラー設置場所は。計画箇所は適当でないのでは。

答 薪ボイラー設置場所は。計画箇所は適当でないのでは。

答 事業を進めるにあたって、情報共有、説明をしながら場所についても検討していく。



只見町の森林面積94%を有効に

●教育費

町民体育館備品整備事業

729万円

問 町民体育館に整備するトレーニング用品、種類、数量は決定しているのか。

答 ある程度は決めているが、様々な方に利用いただき、健康づくり、体力作りに励んでいただけるよう、検討していきたい。

問 健康づくり、体力作りに励んでいただけるよう、検討していきたい。

答 ある程度は決めているが、様々な方に利用いただき、健康づくり、体力作りに励んでいただけるよう、検討していきたい。

●土木費・消防費

冬期孤立住宅政策

問 現在の制度で、冬期孤立住宅解消にかかる事業はあるのか。

答 従来一軒家対策事業で実施してきたが。現在は克雪対策事業の中で制度を拡充し取り組んでいる。

問 振興センター・公民館の体制充実を

機構改革によりターゲットする。職員体制の充実を。



健康づくりが大切

答 それに伴った人事件制が必要と考えており、努力していきたい。

問 放課後子どもクラブ事業

845万円

問 放課後子どもクラブ、実施場所が変わったのか。

答 従来は振興センターで行っていたが移動の関係もあり、現在は小学校での実施となっている。

問 放課後子どもクラブ、実施場所が変わったのか。



放課後も安全に



予算特別委員会

雇用環境の改善を

問 働き方改革、役場が率先して取り組みべきだ。

答 会計年度任用職員について、5年度から待遇改善を図っていく。

問 職員研修体制の充実を

答 職員研修、人材育成の在り方は、職場研修が重要と認識している。

事業 雪んこタクシー運行 2374万円

問 新多目的交通システム（雪んこタクシー）運営補助、物価上昇の中でこの金額でいいのか。

答 精査し変更等で対応したい。

協定 モンベルとの包括連携 1340万円

問 モンベルとの包括協定、どう進めるのか。

答 様々な課題が出されている。そ

の課題を解決したうえで次のエコトラックという順番に行くのが筋だと考えている。

雨堤トイレの改修

問 雨堤トイレのストロープの計画、予算は。

答 裏側からのストロープを検討し、予算措置していきたい。

託料 水の郷ただみ川公園委 263万円

問 水の郷ただみ川公園管理、利用されるよう環境づくりを。

答 イベント開催、景観整備含め使えるよう努めていく

文化財保護・宮前遺跡発掘調査事業 4774万円

問 宮前遺跡調査の予算積算は適切か。

答 詳細までは提示できないが、項目で提示説明したい。

予算特別委員会意見

委員長 山岸 国夫 副委員長 酒井 正吉郎

一般会計予算

- (1) 薪エネルギー事業はユネスコエコパーク・自然首都只見にとって、将来を見据えた重要な施策となる。薪ボイラーの設置場所を、季の郷湯ら里とむら湯に予定されているが、他に適地を十分検討し、慎重に進めること。
- (2) 委託料・負担金・補助金においては物価高騰にも勘案し、予算策定にあたっては算出根拠を明確にすること。

特別会計予算

- 1, 只見町介護老人保健施設特別会計予算
 - (1) 一般会計からの繰入金が増加し、基金保有残の減少が見られる。将来を見通した運営に努力されたい。
- 2, 只見町簡易水道特別会計予算
 - (1) 基金の繰入金が増加し、基金保有残の減少が見られる。将来を見通した運営に努力されたい。

予算特別委員会に付託された10議案すべて原案の通り採択された。

議案第25号 只見町後期高齢者医療特別会計 賛成10、反対1（山岸委員）
反対意見・制度そのものに反対。

出産一時金 増額

3月
会議

条例改正

(千円以下切り捨て)



* 出産育児一時金

40万8千円を
48万8千円に増額

高齢者施設運営険しい

介護老人保健施設特別会計繰出金

増加傾向に

6500万円

人件費の減額が多いのでは

会計年度職員や
事業のスタッフの

人件費の減額が見受けられる。事業は滞りなく実施できているのか。

中途退職のため減額している。

今いる人材で実施したため代わりに残業費が増額している。

働き方改革の考え、職員負担の軽減を考えなければならぬ。人員確保の難しさをどのように分析しているか。

人材育成に関わる業務があり、責任が重い業務がある。そこが集まりにくい要因でもあると考える。短期的には職場環境、賃金の改善などに取り組み必要がある。同時に中長期的な視点も必要だと考える。

問 介護老人保健施設(こぶし苑)特別会計への繰出金6500万円と高額である。必要な施設だが経営改善の方針はあるのか。

答 新型コロナウイルスによる影響もあり入所者が減っているが今後は満床を目指すしていく。

多くの減額補正
適正な予算執行が求められる

問 町下広場の電気設備改修工事が約1700万円の減額補正だが、財務規程では契約と同時に負担行為を起すことと承知している。執行しなかった1700万円の予算があれば、物価高騰対策や町民の福祉のために事業が実施できたのではないか。

答 指摘どおり速やかに実施するべきであった。反省し今後に活かす。

問 当初予算で計上しているが、事業が実施されずに全額減額で補正されているものがある。事業計画どおり実施しているのか。

答 設計変更などで間に合わなかった事業があった。

問 設計変更などで間に合わなかった事業があった。

人権擁護委員 全会一致で同意

人事同意

住所 只見町大字小林字七十刈586
氏名 角田 行雄 氏
任期 令和5年7月1日より3年間

条例設置

定住促進住宅条例議決

新しい住宅完成

* 条例設置により募集開始が出来、4月1日からの入居が可能となった



单身向け車庫付き住宅 9戸1棟

債務負担行為補正

* 物価高騰等の影響を考え、令和5年4月を目途に新たにプレミアム商品券を発行したいため

プレミアム商品券発行事業

2620万円

条例改正

町の課設置条例の改正

新年度より、課の名称、業務分担を 変更するための条例改正

* 新年度より業務分担の再編と組織の改正が行われ、6課が5課となり新しく「交流推進課」が新設され、今まで以上にスピーディな対応が求められる。



新築された下福井集会施設

指定管理

下福井集会施設

新しい集会施設の完成に伴い 下福井区に指定管理

2月 第1回 会議

2月10日

(千円以下切り捨て)

発行日	発行枚数	発行総額
令和5年4月14日	6,000,000枚	1億2千万円

発行日	発行枚数	発行総額
令和5年4月14日	6,000,000枚	1億2千万円

発行日	発行枚数	発行総額
令和5年4月14日	6,000,000枚	1億2千万円

4月14日発行

2月 第2回 会議

2月17日

財産の取得

*ロータリー除雪車2台が、老朽化のため、更新するもの
早期入札することにより降雪前納車が可能に

ロータリー
除雪車2台 **1億1682万円**

**1月
会議**

1月24日

(千円以下切り捨て)

補正予算

補正予算、出産・子育て応援給付

*令和4年4月～令和5年3月の出生数(見込み)18人に対し、
10万円を給付するもの

出産・子育て応援給付金 **180万円**



新会社設立に向け動き出す

*季の郷湯ら里と会津ただみ振興公社の両第3セクターを統合し
新会社設立に向けた組織再編コンサル委託

第三セクター組織再編コンサルタント委託料 **880万円**

みなさまからの請願・陳情について

**継続
審査**

請願『冬期間の生活道路
(町道)除雪』

- 住所 只見町大字只見字上の原
- 氏名 赤塚洋・ミツル
赤塚公生・幸子



福島県最低賃金の引き上げと
早期発効を求める意見書

**採
択**

経 過

3月会議において、全会一致で採択とした。

**継続
審査**

陳情『塩沢高塩踏切の
(宮前踏切)安全対策』

- 住所 只見町大字塩沢字上田1385
- 氏名 塩沢区長 渡部公平

**継続
審査**

陳情『只見川河川改修に伴う
只見集落の内水対策整備』

- 氏名 只見川河川改修計画検討委員会
会長 菅家二千六

総務厚生常任委員会

子育て支援を調査

1, 行政組織機構改革
変更案について、特に
住民自治に寄与する各
振興センターの事務分
掌を調査した。
2, 子育て支援、特に
認定こども園に関し、
西会津町の子育て支援
について視察した。
平成29年4月に開園
した「こゆりこども園」

を実施している。
本委員会は、引き続
き子育て支援について
調査していく。



西会津町視察

経済文教常任委員会

新エネルギー調査中

主に、プレミアム商
品券の早期発行。若者
定住促進住宅の引き渡
しと早期募集。下福井
集会施設の完成に伴う
早期利用のための審査
を行った。また、薪ボ
イラーについては、只

見町の林業の大きな命
題と考えられるため、
全員協議会での説明が
必要であると判断し、
薪エネルギー推進室特
命参与である紙谷氏に
も同席いただき、理解
を深める事とした。付



沖2号住宅内覧

託案件である請願につ
いては、現地調査を実
施したが、さらに調査
が必要との判断から継
続審査とした。

広報広聴常任委員会

一般会議募集のお知らせ

- ① 議会だより171号発行作業
(4月14日発行)
- ② 議会広報を通じて町民の方に行政内容
が分かりやすく、読んでみたくなる広
報誌の発行を目指し取り組んでいく。
- ③ 町民の声を町政に反映させるための広
聴活動にも力を入れ取り組んでいく。

皆さんの意見を町政に反映させてみま
せんか。

広報広聴常任委員会では町民の皆さま
から出された意見を町政へ反映しより良
い街づくりを考える場として一般会議を
募集しております。

テーマ

テーマはまちづくりについてどのよう
な事でも構いません。

申し込みの際にお知らせください。

開催方法

日時・場所については皆さんの都合に
合わせご相談させていただきます。

申し込み方法

議会事務局へご連絡ください。

(☎82-5300)

町民の皆さんと議会が一緒になりまち
づくりについて話し合ってみませんか！

表紙の写真に想う



令和5年3月23日に只
見町立朝日小学校卒業証
書授与式が行われ、目黒
ゆまりさん、増田巧さん、
橘心夢さん、渡部悠希さ
んの4名が朝日小学校を
旅立ちました。

「♪強く 正しく

羽ばたこう♪」

「♪強く 明るく

たくましく♪」

最後の校歌に6年間の
思いを込め、新しい一歩
を踏み出します。

議会運営委員会

● 議員間自由討議に向けて

1月18日から1月20日にかけて、神奈川県大井町議会、千葉県館山市議会の議会運営に関する先進地視察研修を実施。議会の活性化を図るため議員間の自由討議等について調査した。



神奈川県大井町議会視察



千葉県館山市議会視察

南会津地方広域市町村圏組合議会

● 只見出張所建設始まる

令和5年2月22日第1回広域市町村圏組合議会定例会が開催された。主な議案としては、「定年等に関する条例改正」、「令和4年度一般会計補正予算」、「令和5年度一般会計予算」が提案された。

予算総額14億1415万円が提案され、前年対比3億5889万円の増額。只見町の負担金は1億222万円の増で、主な要因として只見出張所の建設事業、伊南出張所の基本実施設計や下郷出張所の高規格救急自動車の更新が予定されている。

只見出張所の建設事業は、令和5年度計画として建設用地造成工事（2期）庁舎建設工事、外構工事を行い、令和6年度にアスファルト舗装工事施工後竣工となる計画だ。

令和5年3月29日に第2回広域市町村圏組合議会臨時会が開催され、「定数条例の改正」について提案があり、消防業務の持続可能な体制構築のため、消防署職員の定数を現在の88名から100名に増員することが決定した。

南会津地方環境衛生組合議会

● 電気料金増加により、町村負担増に

1月会議においては、南会津地方環境衛生組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例と、西部焼却炉解体事業完了による減額の一般会計補正予算が提案され、可決された。

2月に行われた令和5年度第1回南会津地方環境衛生組合議会定例会においては、地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴い、職員の定年が段階的に引き上げられることに関連する条例改正が、提案された。内容は以下の通り。

南会津地方環境衛生組合の定年等に関する条例の一部を改正する条例。

地方公務員の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例。

南会津地方環境衛生組合職員の高齢者部分休業に関する条例。

令和5年度南会津地方環境衛生組合一般会計予算については、歳入・歳出予算それぞれ11億2619万円となり、全会一致で可決された。これは昨年度より7284万円の増額となり、主な増額要因は電気料金等の増によるものである。このうち、只見町の負担金は1億4640万円となり、排出ゴミの削減等、何らかの対応策が求められる。



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.35



アカショウちゃん

「陳情・請願の採択基準」 ってなあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami



ブナりん 陳情や請願が、採択になったり不採択になったりするけど、どうやって決めているの?

議会議長 只見町議会では採択基準を設けているんだ。採択するには次のことが目安なんだよ。

- 1, 「只見町だけで実現できること」
- 2, 「何十年も時間がかからないこと」
- 3, 「みんなで決めたルールを破らないこと」
- 4, 「ビックリするぐらい沢山お金を使わないこと」
- 5, 「みんなにとって良いこと」なんだよ。

イワっぺ じゃあ不採択の基準はあるの?



議会議長 採択条件に合わないことが多い場合は不採択になるんだよ。

「みんなにとって良いこと」であっても、只見線のように「只見町だけでできること」じゃなかったら不採択にするしかないんだよ。



アカショウちゃん こうだったらいいな、こういうことで困っているんだ。そんな時は内容を書いた陳情書を議長さんとこに持っていけばいいの?

議会議長 まずは議員の誰かに相談してみようかな。

議会事務局に「〇〇さんに相談したいんです」と連絡してくれてもいいし、陳情・請願だけが解決方法じゃないんだ。区長さんに相談してもいいし、色んな人に話してみることが大切だと思うよ。



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。

- 採択基準
1. 請願・陳情の内容が、只見町あるいは只見町議会の権限内であるもの
 2. 行政効果、住民サービスの視点から願意に妥当性が認められるもの
 3. 法令ならびに行財政上^{※1}、一定期間^{※2}内において実現可能であるもの

※1 行財政上：概ね1億円以上伴うものについては、只見町振興計画実施計画に計上されていないものは不採択とする

※2 一定期間：概ね4年以内に実現または着手できるもの



各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！
*注 2名が一緒の録画動画になっています。



ブナりん

一般質問者席

一般質問

- **酒井正吉郎**14
10年後を見据えた役場庁舎の建設は
- **矢沢 明伸**15
只見線、八十里の開通後の町づくりは
- **小沼 信孝**16
ユネスコエコパーク登録から10年
- **鈴木 好行**17
公共施設、建設予定の順番は
- **三瓶 良一**18
役場庁舎及び複合駅舎建設とつなぎ対策は
- **菅家 忠**.....19
南会津西部での只見高校のあり方は
- **酒井 右一**20
国道289号八十里峠開通に向けた「子育て」の問題とあわせた町長の所信
- **中野 大徳**.....21
只見線全線復旧に伴う今後の取り組みについて
- **山岸 国夫**22
国民健康保険税の軽減について
- **齋藤 邦夫**23
第三セクター改革とその狙いは

町政を問う

町を想い10名が

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

10年後を見据えた 役場庁舎の建設は

答 出来るだけ早期に町産材で建設したい



さか い しょう きち ろう
酒井正吉郎 議員

問

暫定移転して早5年程になり、多くの住民の方々からいい加減不便で不親切な役場を再建すべきと言われているが。

答

令和5年度は、森林の育成と活用を図っていくための関係予算をお願いし、町産材や県産材を役場庁舎に活用できるように検討し、併せて建設時期についても検討していく。

問

庁舎建設の財源はあるのか。また平成24年に全国公募して選ばれた設計者のアーキプロは、経験や力量の不足から満足のいく設計がなされなかったがその反省は。

答

財源は公共施設等再生整備基金の15億6000万円あまりがある。設計者はプロポーザル方式により、審査委員会から選ばれたものであり、不満や不安はあったがやむを得なかった。今後は町、議会はもとより町民の方々、地元の設計士、建築業者他総動員で取り組む。

問

結果として2度の入札は不落不調に終わり、設計委託料他、1億数千円の出費に対する考え方は。

答

当時の予算執行に問題は無いと考える。

問

早期の庁舎建設を多くの住民の方々が待ち望んでおられ、今からでも三地区合意の元再スタートをきるべきでは。

答

まず、駅前賑わい創出事業を充実させ、間近に迫るR289八十里越えの開通に合わせ、みんなの納得感のある合意形成の元、なるべく早期に

問

建設に着手できるように努力する。

昨年からの只見線の再開通を機に、駅前賑わい創出事業と駅の複合施設化に向けて動き出しているが来訪者に対し満足のいく「おもてなし」が出来ていない現状である。今後の整備促進の目標とスケジュールは。

答

三年後となる国道289号八十里越え道路の開通に向けて、今後の施設整備と合わせ現在進めている。第三セクター改革による新会社設立等で受け入れ体制の充実も図っていく。



只見町役場駅前庁舎



只見町役場町下庁舎

只見線、八十里の 開通後の町づくりは

答 開通の効果を生民生活に
結び付けることが重要

問 数年後の八十里
越えの開通時に
は観光や交流促進、救
急救命体制など生活の
利便性の向上などが期
待されている。只見線
の再開通時の対応の検
証含め、今後どのよう
なまちづくりを考えて
いるか。

答 J R只見線の再
開通時の賑わい
は予想を超えるもので
あり、受け入れ態勢等
様々な課題が浮き彫り
となった。八十里越え
についても生活の利便
性の向上が期待される
半面、交通量の増加に
よる安全対策をはじめ

開通の効果、影響を生
民生活に結び付けてい
くことが重要であり、
観光面でも地域の方々
の動きや力を得ていく
ことが必要であると考
えている。

問 八十里の開削に
は、下田村の西
潟為三氏、叶津村の長
谷部保信氏など先人の

思い、努力があった。
只見線も長い歴史があ
り、昨年再開通、繋が
った。これからどう創
造していくかが問われ
ている。町民の機運の
盛り上がりも必要でな
いか。

を図っていくことが重
要であり、文化、歴史
を再評価、再検証し財
産として皆で捉え直
し、応援していただい
ている人達と力を合わ
せていく努力が必要と
考えている。

答 携帯キャリアに
よっては電波が
弱く繋がりにくい地域
があることは認識して
いる。居住地域につい
てはいずれかの携帯キ
ャリアのエリア内に入
っており、カバー率と
しては問題ないものと
考えている。



のび あき ぎわ
議員 明 矢 沢



八十里越の5号橋梁 (画像：国土交通省)
約40年の工事を経て、
日本有数の「通行不能区間」の解消が近づいています。

携帯電話の通話困難 地域がある、解消策は

答 調査を行い解消に努める

問 広域Wi-Fi
によるデジタル

問 カバー率でなく、
現状で繋がりに
くい地域、災害時等で
携帯事業者によって繋
がらないのでは困る。
町民の安全安心につな
がるよう対応いただき
たい。

答 現状を調査し、
解消に努めてい
きたい。

ユネスコエコパーク 登録から10年



お ぬま のぶ たか
小沼 信孝 議員

答 今後も守りつづける

問 登録から10年目を迎えるようになっているが町内経済に影響はあったのか。

答 経済効果として示すことは難しいが、新たな産品のブランド化、現在23事業者、33品目に増え一部はふるさと納税の返礼品にもなっている。

問 自然と共生してきた中で、野生鳥獣を食していた伝統文化に国から出荷制限が出されているが規制解除に対する取り組みはどのように進められているか。

答 取り組みはしていない。今年度町においてマタギサミットが開催される際に意見を聞いていきたい。

問 国は規制解除の基準が曖昧で規制解除に苦勞した経験がある、国にしっかりと

解除基準を求め対応をしてほしい。

答 そのようにしていきたい。

問 ユネスコエコパークの理念を今後どの様に経済活動につなげていくか。

答 森林整備をしていき薪エネルギー事業を作り雇用の確保も図っていきたい。

問 薪エネルギー事業で通年の雇用が確保されるのか。薪ボイラーの考えだけでなく、熱源を他に使うことも考えて欲しい。

答 検討していきたい。薪ボイラーありきで考えているわけではない。

問 ユネスコエコパークに再登録申請をするだろうが、経済活動にも取り組む考えを伺う。

答 しっかりと話を聞きながら取り組んでいきたい。

答 ユネスコエコパークの理念を今後どの様に経済活動につなげていくか。

3つの機能

- 1 保全機能 (生物多様性の保全)
- 2 経済と社会の発展
- 3 学術的研究支援

3つの地域(ゾーニング)



ユネスコエコパークの理念でもある経済発展できる仕組みを！

モンベルとの 包括連携協定とは

答 経済の活性化に結び付けたい

問 包括連携協定を結び今後何をしたいのか。

答 只見の自然資源を活用した、幾

つかのアクティビティを実施していくために現地での指導を含めたモニターツアーを実施する。

公共施設、建設予定の順番は

答 令和5年度、新ステーション整備を予定

問 只見駅の複合化施設整備、道の

駅、役場庁舎、湯ら里改修工事、屋内運動場、薪ボイラー施設など全て建設すると計画しているが、その財源、実施時期が示されていない。施工に取り掛かる順番はどう考えているか。

年度に只見線広場を道の駅的な施設として発展させたい。この2事業を進め、ほかの施設は事業の優先度や財源などを総合的に検討、推進して行く。

問 2つの事業だけでなく、総合的な事業計画や具体的財源が示されず、判断できな

くない。具体的な方向性を示してほしい。

答 できるだけ早期に示したい。

問 道の駅の施設と道の駅の二つを整備する必要はあるのか。

答 「道の駅」単体での建設は大変

だ。在宅機能サービスを兼ね備えた「道の駅」も考えられる。

問 これらの施設整備に係る財源は

どう考えているか。

答 令和5年度に関

しては、森林環境交付金、過疎債、森林環境基金を予定している。今後は地域振興基金や観光施設等整備基金、公共施設等再生整備基金等を活用したい。



すずき よしゆき
鈴木好行 議員

第7次振興計画の評価・検証結果は

答 まだ実施していない。今年度中に

問 第7次振興計画は今年度で7年

を経過し、中期の評価・検証の年度になる。評価・検証の結果を問う。

答 評価・検証の方法に新たな手法

を取り組むこととしたため、準備作業に時間を要し、年度内の完了に向け、準備中だ。

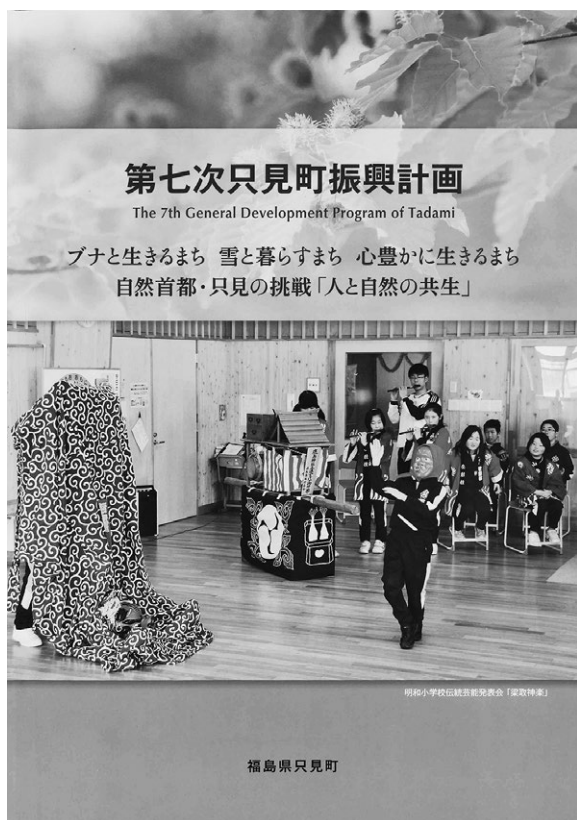
問 計画4年目の評価・検証作業は

12月に報告書が出来上がっていた。評価・検

証を経て、次年度の予算、計画に反映させるべきだ。

答 評価・検証結果はまとまり次第

説明をし、改善が必要なものは、年度途中で改善をして行きたい。



第七次只見町振興計画

The 7th General Development Program of Tadami

ブナと生きるまち 雪と暮らすまち 心豊かに生きるまち
自然首都・只見の挑戦「人と自然の共生」

只見小学校三級五級児童会「家取神楽」

福島県只見町

第七次振興計画の評価・検証を

役場庁舎及び複合駅舎 建設とつなぎ対策は



さんべりょういち
三瓶良一 議員

答 町の玄関である駅舎や賑わい広場が優先

問 役場は町政の要だ。建設計画は入札不調となり、さらにオリンピック後には、建設資材が安くなる等として先延ばしされてきた。この間、東日本大震災があり、各地の庁舎が被災したため、国は時限立法で特例補助制度を設け庁舎の改築を支援したが、当町は何もしなかった。分散庁舎は異常だ。方針と時期を明確にされたい。

答 現状はあくまで暫定移転だ。町の玄関である只見駅舎と只見線広場付近の充実（賑わい広場事業）が優先課題だ。

問 駅舎用地等のJ-R交渉経過は。回答は譲渡用地面積が不十分な

答 町負担とするもので担当者レベルの話では限界があり、J-R東北本部長に申し入れをしており、現在は回答待ちだ。

問 J-Rは春の特別臨時列車34本を発表した。心配は雨風等だ。テント、屋台を用意すれば、休憩、食事等の受入れは可能。町民の協力を得れば郷土料理の提供も可能だ。つなぎ対策が大切である。

答 賑わいづくり事業イベントは、只見駅開業60周年事業、只見線全線運転再開1周年事業、うまいもん祭り、雪まつり等がある。複合駅舎建設までのつなぎ対策は仕組み造りを研究していく。町観光発展に向けて取り組む。

政府の異次元の少子化 対策と町の対応は

答 魅力のある条件づくりに取り組む

問 総理は少子化対策に2倍の予算付けをすると言われた。以前、少子化には300万の壁があることを申し上げたが、若い人たちが生活できる

支援対策が必要だ。労働環境、婚活、出逢い触れ合い対策、子育て支援等の20年30年を見通した持続可能な町づくりの足場固めを求めたい。

答 国の少子化支援策を注視し只見町に残っても大丈夫だと思っただけ、不便、不利条件の改善と魅力のある条件づくりに取り組む。



南会津西部での 只見高校のあり方は

答 地域の将来を担う人材育成の拠点である

問 南会津高校統合により西部地区には只見高校のみが存続することとなり、地域に高校があることへの価値を立ち返って議論すべきと考える。都市部の高校とは異なる本地域での目指すべき高校の姿とは。

答 地域の課題に向き合い、地域を支える人材の育成が目指すべき姿である。

問 只見高校の教員数の推移は。

答 教員数は令和2年度12名、4年度が9名である。令和2年度か

ら生徒の定員数が70名から40名に減少し1クラスとなつていく。

問 只見中学校生徒が只見高校へ進学希望しない場合の分析は。

答 只見高校にはない専門学科や部活動等、多様な目的を持つて進路を希望している。

問 魅力ある只見高校を存続させるために必要な目標は。

答 数値的な目標は2クラス化と教員数増加である。

問 地域推進校の地域とはどこまでか。

の地域だと考えている。

答 一つは山村留学の視点から全国、もう一つは只見町である。

問 今回の質問の肝はどこである。

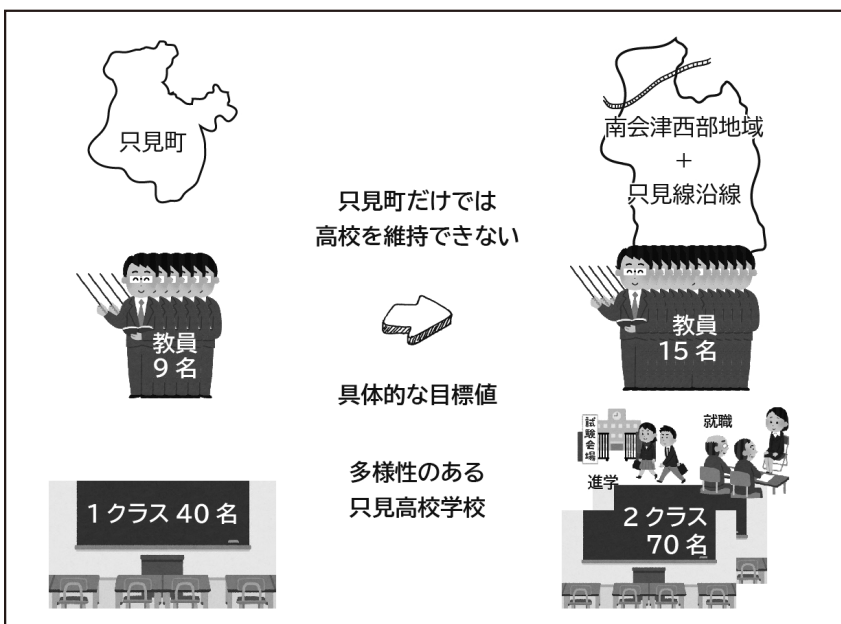
南会津高校統合により、「地域」の捉え方を只見町から南会津西部地区に拡大する時期に入っている。先進地域の事例では「地域に高校があることが若者定住、移住定住の最低条件」だとしている。生徒だけでなく保護者だけでなく只見町民だけではなく南会津西部地域の住民で、地域が存続するために只見高校のあり方を考える必要がある。

様な進路に選ばれる只見高校になるには、2クラス化と教員数の増加が必要であるのは共通の認識である。データに基づいた施策が必要であり、目標達成には地域の捉え方を改める必要がある。

答 町として具体的な目標を持ち、高校と一緒に戦略を練っていく。データをしっかり掴んで只見高校にきていただく取り組みが必要である。



ただし
議員
菅 家



国道289号八十里峠 開通に向けた 「子育て」の問題と あわせて町長の所信を問う



さか い ゆう いち
酒 井 右 一 議員

答 この町で子育てをしたいと思っただけのような魅力ある地域づくりを進めたいと考える

問 国道開通によって考えられるメリット及びデメリットについてどう分析しているか。

答 メリットについては、このアク

セス向上により飛躍的に交流人口の拡大が図られること。特に観光客の移動が増えることでの交流が活発となり、地域経済の活性化が期待できると考える。生活行動の面においては、就労、就学、買い物、救急医療、通院等に大きな変化がおり、選択肢の多様化、利便性の向上など地域活力の増進や維持に期待ができる。

一方、デメリットは、ストロー現象と呼ばれる人口流出の加速である。三条市の企業においても只見町と同様、働く人の確保が課題となっており、より条件

の良い企業を目指した人材の流出が懸念される。

また、経済圏の変化による町内事業所への影響、交通量増による事故などにも留意しなければならない。

問 開通によって、只見の人口減少は抑制されるのか。又は、人口は減少する

か。

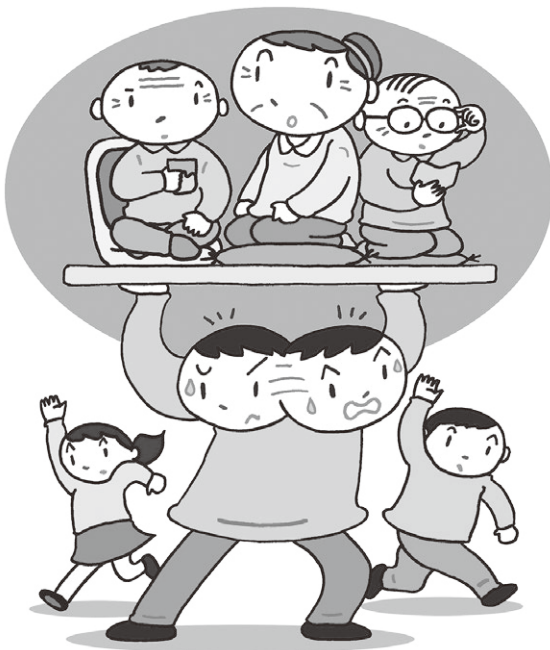
答 ストロー現象による生産年齢人

口の減少が心配される。何の対応もしなければ現象は加速するので、生活や子育ての環境など、住民ニーズを的確に把握し対応していく必要がある。

また、今ある只見の魅力を様々な形で引き出し、新潟県側から来訪いただく方々には、只見ユネスコエコパーク、自然首都・只見を魅力ある場所として感じていただき、関連す

る産業を活性化することも人口減少の抑制につながるので、様々な事業展開を検討したい。

いよいよ3年後に迫った国道289号八十里峠の開通により、只見町は大きな変化を迎えると考えられる。この町に住んでよかった、この町で子育てをしたいと思っただけのような魅力ある地域づくりを進めたいと考える。



只見線全線復旧に伴う 今後の取り組みについて

答 観光二次交通環境の充実を図っていく

問 JR只見線全線復旧により沿線自治体に経済効果をもたらしている。さまざま

な課題も浮き彫りになっているが、只見駅で下車された観光客の二次交通に対する認識は。

答 令和5年度については定期路線

バス「自然首都・只見号」を拡充する形で、

5月中旬から12月上旬までの土日等に周遊バスを実証実験として運

行させ、町内の観光施設等を結ぶコースの調整を図っているところ

だ。他、福島県においても只見線沿線での

※パークアンドライド

バスの運行を検討している。これらと連携して観光二次交通環境の充実を図っていく。

只見駅前の「道の駅的複合施設」の今後の進め方は。

問 「道の駅的複合施設整備」につ

いては只見駅前賑わい創出事業による只見線

広場において観光商工

地域振興の核となる複

合施設整備の取り組みを進めたいと考えてい

る。次年度に只見線広

場付近の全体整備に必

要な埋蔵文化財調査を

実施するとともに現在



なかのたかのり 中野大徳 議員



二次交通充実で利便性向上を

つり等のイベント実施を見据えたハード整備を検討していく。

問 議会報告会等で

雨堤トイレの改修や、夜間暗いといった要望があったが解決したか。

答 雨堤トイレについては洋式化を検討している。また夜間については防犯灯の設置が完了している。

舗装工事については埋蔵文化財調査もあるの

問 秋に来た観光客が冬、春、夏にも訪れるような、また、百人の人が一度来るよりも、十人の人が十回訪れるような町づくりを目指していただきたい。

答 目指すべき方向は同じだと思っ

ている。大切なことは、その方向性をみんなで共有し、具体的に取組んでいくということが求められていると思う。不十分かもしれないが、当初予算に関係予算を提案させていただいている。一つ一つ具体的な方向に少しでも近づくように努力する。

※パークアンドライドバス
マイカーから乗り継ぎができるバス

国民健康保険税の 軽減について



やま ぎし くに お
山 岸 国 夫 議員

答 軽減に努められるよう検討する

問 6月の国民健康保険税算定にあたり、基金を活用し、国民健康保険税の軽減で町民の生活支援対策となることを求める。

答 基金の保険事業への活用として、総合検診の特定検診の費用負担を千円から0円へ、施設検診費用2千円を千円に引き下げ、受診の勧奨を行う。保険事業への活用継続と県統一保険料率の開始により上昇が想定される保険料率の激変緩和対策へ活用したい。



問 年金は減り諸物価高騰で町民生活は大変な状況にある。生活支援として、また、子育て支援で18歳までの均等割り軽減の検討を求める。

答 今までの被保険者の方々の基金であり還元していく。6月会議に向けて、基金を活用し軽減に努められるよう検討する。

「町民と協働の町づくり」の 位置づけは

答 人的配置に配慮したい

問 町民のおかれて
いる現状は、高
齢化による集落の維持
が困難になってきてい
る。「住民との協働の
町づくり」を取り組む
ために、各振興センタ
ーの役割は益々重要と
考える。

この間の振興センタ
ーの人的配置は本来の
位置づけからほど遠い
内容になっていたの
でないか。

組織機構改革案（課
の再編成）が示されて
いるが、この間の教訓
をくみ取り、「住民との
協働の町づくり」を取
り組む基本方針および
推進する体制の考えは、

答 4月に中央公民
館をスタートさ
せ、社会教育と生涯学
習活動を行うことで、
地域住民のコミュニティ
の質を高め、個人とコ
ミュニティの総合作用
によって地域が発展し
ていくことを目指すこ
ととしている。これら
の活動を通じて、「地
域福祉」「地域防災」「地
域振興」「生涯学習」の
4つの機能を強化し、
地域づくりにも結び付
け、町づくりを推進さ
せる狙いもあり人的配
置にも配慮したい。

第三セクター改革とその狙いは

答 時代を見据えた新たな会社設立

問題を共有して取り組みたい。

問 第三セクター「湯ら里」「振興公社」の経営上の問題点とは何か。現在の法人には多額の債務が見込まれ、その処理方針と新たに立ち上げる第三セクターの経営ビジョンと設立の時期及び株主構成を問う。

答 経営上の問題点は経営検討報告書で宿泊や宴会売り上げが減少し、人件費、固定費等が赤字幅を拡大した。第三セクターの経営管理体制の見直しなど多数の指摘があり経営力を高める必要がある。また、多額の債務処理は慎重を期し

専門家に委託して債務の見極め、株主や取引先に迷惑を掛けないようにしたい。新しい第三セクターの経営は、二社の既存の事業を引き継ぐ形で経営検討委員会や議会の提言を踏まえ、単なる施設管理に留まらず、将来のまちづくりを担う会社立ち上げたい。設立の時期は本年の6月を目標に株主構成は現段階で決定してない。

働率は、開所時の50%、現在コロナ禍の中でも50%70%とアップし、施設管理の面でも随分努力の跡が見られる。残念ながら施設の老朽化による故障が多く、定期的に施設のリニューアルを実施してこなかった町に責任がある。これまで「振興公社」に主要観光施設の管理を委託し、「湯ら里」は、都市交流の拠点として地域の活性化、就労の場の創設、町民福祉と健康づくりの場と位置づけられてきた。今後導入の狙いを継承される考えか。

答 この施設には、ご指摘の3つの

問 湯ら里の開所時と現在を比較すると、披露宴や飲食の売り上げが極端に落ち込み、地場産品の活用など地域貢献も少なく感じる。一方、客室稼

大きな目標があり、設立時の原点に立ち返り町を挙げて取り組まなければならぬと考えられる。新しい会社は町づくり会社としてどこを改善していくか、皆が



さいとう くに お 齋 藤 邦 夫 議員



私が思う只見町の良いところと改善点



只見中学校
1年 目黒ゆまり

私が思う只見町の良いところは2つあります。1つ目は、町民が全員優しいことです。人口は少ないですが、その分つながりが強くみんな私たちが

只見町の将来と八十里越え



明和小学校
6年 星 颯馬

僕たちは総合的な学習の時間に八十里越えを体験し、只見町と新潟県ので

に優しく接してくれます。

2つ目は、自然が豊かなことです。水も空気もどちらもきれいで只見町は良いところだなと思います。

一方で改善点が2つあると私は思います。1つ目は、地球温暖化で美しい自然が壊れていること

です。只見の美しい自然が壊れていると思うと悲しいです。2つ目は、少子高齢化が進んでいるこ

きました。以前は只見からはゼンマイや生糸などを送り、新潟からは石油や塩などが送られ、お互いの生活を支え合う、深い関わりがありました。

しかし、今では只見の人

も新潟の人も、そんな深い関係があったことを知らない人が多くなっています。ぼくは2つの地

とです。若い人が増えて活気のある只見町になってほしいと思います。

どちらも解決すること

は簡単ではありませんが、

自分でできることを考え行動していきたいです。

ひとこと

非常に難しい2つの問題、1つ目はひとりひとりが温暖化対策に取り組むことから始めよう。

2つ目は若い人からお年寄りまで住みやすいまちづくりが大切ですね。

ひとこと

域が新しい八十里越えによってつながることで交流が活発になり、昔のように関わりが深くなるとういなど思いました。

近くて遠い「歴史の道八十里峠」新たな地域との交流、つながり、開通が待ちどおしいですね。

編集後記

昨年の今頃は只見高校野球部の甲子園出場に沸き上がり、連日のようにTVや新聞に只見町が取り上げられていました。そして秋にはJR只見線の再開通で、再び只見町が脚光を浴びました。

町と議会は、この盛り上がりが一過性とならないよう、お互いの知恵を出し合っ

お詫びと訂正

議会だより170号2ページの貴重なご意見の中で「駅前庁舎の女子トイレ」とありましたが、正確には「雨堤トイレ」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

発行責任者

議長 大塚純一郎

広報広聴常任委員会

委員長 小沼 信孝

副委員長 菅家 忠

委員 山岸 大徳

委員 中野 国夫

委員 鈴木 好行

委員 矢沢 明伸